

(4) 負傷の種類別状況 (昭和53年度)

幼稚園	骨折 19.58%	捻挫 4.22%	打撲 9.04%	その他 31.32%	疾病 2.71%
保育所	27.75%	4.31%	32.06%	9.09%	23.92%
小学校	25.30%	18.33%	19.47%	10.85%	25.19%
中学校	23.84%	29.28%	13.85%	13.01%	17.68%
高等学校	24.00%	29.66%	12.51%	11.64%	18.25%
高等専門学校	15.90%	13.64%	22.74%	9.09%	20.45%

4 学校安全普及啓発事業

(1) 学校安全に関する研究学校

学校安全に関する研究学校として、下記の学校を依頼した。

学校名	研究テーマ	研究期間
東白川郡塙町立塙中学校	生徒活動における安全指導の効果的な指導計画の進め方について	昭和53年度 昭和54年度 2か年間

(2) 第2回福島県学校保健体育研究会の開催

県教育委員会、白河市教育委員会等と共催で、学校体育、学校保健・安全、学校給食を総合した研究大会を開催した。

(3) 学校安全会事務説明会の開催

市町村教委、学校における安全会事務担当者を対象に、安全会の災害共済給付基準の改正点や請求事務等について説明会を開催した。

教育委員会名	期 日	参加者	教育委員会名	期 日	参加者
北塩原村	10月5日	教育委員会 小・中学校 幼稚園 保育所 の事務担当者	矢吹町	11月9日	教育委員会 小・中学校 幼稚園 保育所 の事務担当者
須賀川市	〃		石川町	11月6日	
鮫川村	10月11日		玉川村	11月7日	
棚倉町	10月12日		古殿町	11月6日	
矢祭町	10月11日		浅川町	11月7日	
塙町	10月12日		平田村	11月1日	
大信村	10月11日		岩瀬村	11月2日	
長沼町	10月12日		中島村	10月5日	
鏡石町	11月8日		東村	10月6日	
泉崎村	10月6日		計 19市町村		

5 へき地学校に対する救急医薬品の支給

医療機関に恵れないへき地学校に対し、救急医薬品を支給した。支給学校等はつぎのとおりである。

- (1) 支給学校……へき地教育振興法3、4、5級地のへき地学校の本校及び分校 33校
- (2) 支給医薬品……外科用救急薬品材料（ゼノール湿布薬他36品目中、予算の範囲内で学校が選択する。）